

粉 中 だ よ り

紀の川市立粉河中学校 12 月 号

令和7年12月1日 発行 校長 船津 真理



今年もありがとうございました



先月までは暖かい日が続き、ちゃんと冬が来るのかと心配になるほどでしたが、12月に入れば、冬らしい寒さがやってくるとの予報が聞かれるようになりました。

さて、今年も残すところ1か月となり、間もなく2025年が終わろうとしています。今年もたくさんの保護者、地域の皆様に協力いただきながら、様々な活動に取り組むことができました。2学期は多くの行事があり、特に校内音楽祭や授業参観、地域交流イベントには多くの保護者の皆様や地域の方々が来てくださり、子供達の様子をご覧いただくことができました。また、様々な場面で皆様に助けていただいたおかげで、無事一つ一つの行事を子供達が主体となって行うことができました。本当に今年も大変お世話になり、ありがとうございました。保護者、地域の皆様に深く感謝を申し上げます。

来年も学校教育目標である「自ら学び、他者と協働して未来を切り拓く生徒の育成」ができるよう、教職員一同力を合わせ、生徒一人一人がよさを発揮し、成長できる学校づくりに取り組んでまいります。

ふるさとを知り、学ぶ



11月10日(月)、1年生でふるさと学習を実施しました。10月20日(月)には紀の川市の小川教育委員から「郷土愛、ふるさとを大切にすること」について講話いただき、ふるさとって自分にとってどんなものなのか、しっかりイメージを持った後に、粉河高校

の KOKO 塾生に粉河地区の史跡を案内してもらいながらフィールドワークを実施しました。フィールドワークの最終地、粉河寺では逸木管長からもご講話いただき、地域を大切にしたい、自慢したいという気持ちが芽生えたという感想もありました。これからもふるさと教育をとおして、地域に誇りを持ち、大切にしようとする態度を育てていきます。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



地域交流イベント

～絆をつなぐ 未来へつなぐ～

昨年度まで参加していた「とうろう祭り」の振り返りで、「もっと地域の方々と交流したかった」「自分達で地域を盛り上げることをしたい」といった多数の意見に目を通した生徒会役員。自分達で祭りを企画し、地域の方々を招待してはどうだろうか、という話し合いが行われ、校長室で彼らの話を聞いたのが1月末のことでした。どうせならやりたいことをいっぱいやってみたら?という投げかけから生徒会役員が何度も話し合いを重ねてきました。こんなことできるのかな?それもやってみたいよね、という中で、自分達だけでできること、できないことを整理し、できないことを商工会はじめ、地域の方々に助けてもらおうということになりました。それから約9か月。途中で役員改選もありましたが、前期・後期役員の素晴らしい連携と彼らをサポートしたいという多くのボランティアが協力し、11月15日(土)のイベントを結実させました。



初めての試みで、何をどれだけ準備する必要があるのか、手探りで進めてきましたが、当日は約400名の地域の方々が来てくださり、大盛況となりました。お越しいただいた方の中には、「お茶席のお茶が本当においしかったよ。粉中が移転してきて初めてここに入ったけれど、ほんまに綺麗な校舎やなあ。私らずっとこの辺りに住んでいるけれど、あんまり楽しみもないから、こんなんやったらもっとPRしてよ!また来るわ!」と仰る方もいらっしゃいました。地域の方々の温かなお言葉が大きな励ましに感じられ、地域の皆様の応援が熱い一日となりました。保護者の皆様、地域の皆様、これからもどうか子供達の活動を支援くださいますようお願いいたします。



県大会で大活躍!

11月1日(土)から3週間にわたり野球部、男女ソフトテニス部が県大会に、サッカー部が伊都那賀大会に出場しました。どのチームも大健闘し、中でも野球部は3位に、女子ソフトテニス部個人の部ではベスト16入賞を果たしました。女子ソフトテニス部の1ペアは12月27日に滋賀県で行われる近畿インドアテニス大会に出場する予定です。和歌山県の代表として、日頃の練習の成果を発揮してくれることを願っています。

--	--

